

教育振興運動メールマガジン

「みんなで教振！」通信 ★家庭学習と読書推進のポイント教えます★

☆☆☆ このメルマガの内容とは？ ☆☆☆

このメールマガジンは、教育振興運動全県共通課題（「家庭学習の充実」と「読書活動の推進」）の推進にあたり、実践事例の紹介や意見交流を行うために、各実践区事務局、県内小中学校、市町村教育委員会、県内指導主事・社会教育主事、そのほか関係者の方々に送信しているものです。

< 目 次 >

- 1 【 事例紹介 】 各実践組織における平成 21 年度の取組例
 - 2 【 家庭学習 】 県立総合教育センターの発表より
 - 3 【 読書推進 】 コミュニケーション能力を育むために
 - 4 【 教振は今 】 教ちゃん、振ちゃん見聞録
 - 5 【 みんなの声 】 ペっこ言い隊
 - 6 【 編集後記 】 あつしのひとりごと
-

- 1 【 事例紹介 】 各実践組織における平成 21 年度の取組例
～平成 21 年度教育振興運動推進状況調査より～

前号に引き続き、市町村の皆様より回答いただきました平成 21 年度教育振興運動推進状況調査の結果から、各実践組織での取組例を紹介します。

<家庭学習の充実>

- テレビを消して学習習慣（ノーメディア・デーの設定）
- 親子で考える生活リズム（家庭のルールづくり）
- お父さん・お母さんの勉強会（地域での学習会、小中合同学習会）
- 地域の居場所で学習会（放課後子ども教室、公民館・図書館）
- 地域の大人の家庭教育啓発（家庭学習の手引きの配布） など

<読書活動の推進>

- 読書ボランティアの協力（読み聞かせ、図書整理・修繕）
- 親子読書の推進（親子読書感想文、親子読書カード）
- 親子読書デー（毎週土曜日は読書の日、第 2 日曜日は読書デー）
- お父さん・お母さんの勉強会（読書や読み聞かせの講演会）
- 地域の大人の読書推進（地域図書の各家庭回覧、教振文庫の設置） など

どちらも、親子で考える、地域（ボランティア・施設）の協力を得る、○○デーを設定する、保護者の勉強会をおこなう、地域全体の意識啓発を図るという

ことを、教育振興運動として地域全域で取り組んでいくというものでした。

さあ、地域の皆さんで心をひとつにし、出来るところからやってみましょう。
そして、取組の成果として、子どもや親、地域の意識の変化、生活の変化を集約大会や広報で確認・共有していきましょう。

2 【 家庭学習 】 県立総合教育センターの発表より

2月17～18日、県内各地から1800名を超える先生方が集まり、岩手県立総合教育センターの研究発表会が開催されました。学校教育が直面している課題や最新の取組についての発表の中には、「家庭学習」の分科会もありました。

「家庭学習に関する調査・分析を、大変興味深く聞いた。自学ノートから宿題への転換、家庭学習と授業との連動、予習・授業・復習のサイクルの確立など、明日からでも挑戦していきたいと思う。(中学校教諭)」というのは、アンケートに寄せられた参加者の声です。

本県の教育における最大の課題である「学力向上」に取り組むには、「家庭学習のあり方」を改善していかなければならない・・・と、県内の小中学校の児童生徒とその保護者、先生方に調査をおこない、県内児童生徒の「家庭学習」の実態を浮き彫りにして、問題提起がなされたのです。

来年度のセンター発表では、今年度の調査結果を踏まえて、家庭・地域（教育振興運動）と連携した家庭学習のあり方や学力向上に効果的な家庭学習のあり方について、具体的な実践発表により解決策が提示されることを期待します。

調査の結果・分析はこちら。

⇒小学校用http://www1.iwate-ed.jp/kenkyu/siryoku/h21/h21_16c1_0.pdf

保護者用http://www1.iwate-ed.jp/kenkyu/siryoku/h21/h21_16c1_00.pdf

⇒中学校用http://www1.iwate-ed.jp/kenkyu/siryoku/h21/h21_16c2_0.pdf

保護者用http://www1.iwate-ed.jp/kenkyu/siryoku/h21/h21_16c2_00.pdf

調査によると、「テレビを見ながら家庭学習」をしている小学生は76%、中学生は57%を越えています。それに対して家庭のルールとして、「ながら勉強」を禁じている家庭は、小学校の保護者は35%、中学生の保護者は29%にとどまり、高い数値とはいえません。家庭における学習環境を整えることが課題です。

この調査においても「1日あたりの3時間以上テレビ・DVD（ゲームを除く）を見ている小学生の割合」は54%を越え、更に4時間以上テレビ・DVDを見る小学生の45%が「ちょうどいい」または「少ない」と回答しています。

中学生の家庭学習の集中を妨げるものとして、「部活動やスポ少活動等の疲労」

を 47%以上の保護者があげています。「家庭学習」の充実のため、活動時間の協力を求める働きかけの必要があったとした中学校が 73%。しかしながら、そのうちの 31%の中学校は働きかけを実際には行なっていませんでした。

「家庭学習の充実」のためには、「ながら勉強」をやめさせる保護者の協力と学校（顧問）・地域（部活動・スポ少の指導者）・保護者（部活父母会）の話し合いが必要です。テレビと家庭学習、競技力向上と学力向上のバランスを整えること・・・それが地域全域で取り組む教育振興運動でも求められています。

3 【 読書推進 】 コミュニケーション能力を育むために

最近の子どもの課題として、対人関係の希薄さやコミュニケーション能力の低さがあげられます。それは、集団に対する不適応や引きこもり、周りの目を気にして自己を押さえたり、自分の思いを上手に伝えられずにキレてしまうといった形で表れてきます。

体験活動や地域での交流活動をとおして、対人関係やコミュニケーション能力を育もうと多くの教育振興運動の実践組織や子ども会などで取り組んでいます。体験をとおして対人関係を学ぶことも大切なことですが、その前段階として、相手の思いを想像したり、相手を受け止める能力を育てていくことが必要です。

2月6日に開催された「国民読書年フォーラム」で基調講演をおこなった明治大学の斉藤孝教授は、次のように述べています。

「他者に対する態度というのは、読書量と関係があります。読書というのは、人の話をたくさん聞くという行為ですから、人の話を落ち着いて聞くことができるようになります。」

さらに、「読書量が多い人は、うざい・むかつくと相手とのコミュニケーションを一方向的に断ち切るような態度は出さなくなります。まずは相手の話を聞いて、ちゃんと理解をした上で、自分のコメントをする、そういう対話ができるようになります。」

基調講演の後のパネルディスカッションでも、話題は尽きませんでした。「自分の主張をはっきりさせ、相手の主張をきちんと聞くコミュニケーション能力が大切だが、その際の最大のポイントである言葉の力が今失われている。」

そして、「対話力、あるいは言語力をつけるには読書が有効である。」「本を読むことで、視野が広がり、他者を理解することが可能となってくる。」と続きます。

読書で自己の内面を耕し、相手の思いを理解する素地をつくってこそ、体験活動をとおして対人関係の理解が深まり、コミュニケーション能力を育まれていくのではないのでしょうか。

4 【教振は今】教ちゃん、振ちゃん見聞録

- (教ちゃん) うるうる。うるうる……。お母さ〜ん！
- (振ちゃん) きよ、教ちゃん。どうしたの？
- (教ちゃん) 二戸市教育振興運動推進協議会がつくった「家庭教育の手引き」に掲載されている子どもを思うお母さんの気持ちを綴った手紙を読んで、感動していたの……。
- (振ちゃん) 「みんなではぐくむ二戸っ子」のことだね。28 ページにわたって、学力を伸ばすために、発達段階に応じた学習・生活・読書などの家庭での学習環境づくりの方法について書かれているんだ。
- (教ちゃん) 親が子どもにどうかかわり、支えていけばいいのかが書かれ、親の果たすべき役割を考える手引きとして、とても読みやすいのよ。各家庭にただ配布するだけではなく、これをテキストとして、家庭教育学級などで親の勉強会をするという考えも素晴らしいわ。
- (振ちゃん) 以前から紹介している雫石町も2月に教育振興運動の推進組織が立ち上がったんだ。2月の広報では、10月に実施された「学習定着度状況調査」における雫石町の子どもたちの結果分析が、3月の広報では、雫石町が教育振興運動で取り組んできた1年間の成果や共通テーマとして掲げている「読書推進」の結果が特集され、町民の皆さんに紹介されていたよ。
- (教ちゃん) 県が発表する調査の平均点ではなく、町の子どもたちの実態や町が1年間取り組んできた結果を分析・公表して町民全員が共通認識を持つことは、とても大切だと思うわ。
- (振ちゃん) 具体的な取り組み方法は各実践組織に任せるけど、市町村内のすべての実践組織が共通の課題に取り組むと、雫石町のように町の広報で成果や課題を町民全体で共有できるよね。
- (教ちゃん) 1年間の取組の成果を実感できないというのが、教育振興運動の課題のひとつだけど、広報を全戸配布すると1年間のやったことやその結果が住民全員に伝わるわ。集約大会だけでは、参加した人だけだものね。二戸市に雫石町……参考になる取組よね。

二戸市手引⇒http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/jirei_ninohe.pdf

雫石町広報⇒http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/kouhou_shizukuishi2_3.pdf

5 【みんなの声】ぺっこ言い隊

いつも楽しく拝見しております。

今回は、地域コミュニティについての感想や要望を書きます。

地域コミュニティは、日常生活は勿論、地域文化の創造やまちづくり、災害時の助け合いなど多くの役割を担っています。豊かでゆとりある地域社会を実現するためには、地域コミュニティが多面的な機能を発揮し、地域を元気にして

いくことが不可欠だと思います。

教育振興運動や目標達成型の学校経営改革（いわて型コミュニティ・スクール構想）も地域コミュニティの多面的機能の1つだと思いますが、こうした地域活動を牽引する人材の育成というのが課題ではあるものの、メルマガにもあったように、自分たちの課題として「原点に立ち返る」ことが大切だと痛感しました。

また、これは要望になりますが、地域コミュニティの実践事例として、防犯・防災活動、地域資源を活用した生産活動、福祉などの相互扶助、あるいは歴史・文化の保存や伝承など、教育振興運動の取組にも参考となるようなもの、あるいは連携して取り組むべきものなどを紹介していただければと思います。今後の教育振興運動の参考になり、また、広がり生まれるかも知れませんので。

（H町 Cさん）

★いつも、建設的な提案や質問をありがとうございます。

第16号にも書いたように教育振興運動は、子どもの教育課題を地域の大人が集まって考え、ともに行動することによって、大人の意識を高めながら地域コミュニティづくりに取り組むものです。

要望にありました事例についても、これから紹介していきたいと思います。

メルマガの感想や日頃思っていることをどんどんお寄せください。

⇒ 21kyoushin@gmail.com

6 【編集後記】あつしのひとりごと

「子は親の鏡」（ドロシー・ロー・ノルト著「子どもが育つ魔法の言葉」より）

けなされて育つと、子どもは人をけなすようになる
とげとげした家庭で育つと、子どもは乱暴になる
不安な気持ちで育てると、子どもも不安になる
「かわいそうな子だ」と言って育てると、子どもはみじめな気持ちになる

子どもを馬鹿にすると、引っ込み思案な子になる
親が他人をうらやんでばかりいると、子どもも人をうらやむようになる
叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう

励ましてあげれば、子どもは自身を持つようになる
広い心で接すれば、キレる子にはならない
誉めてあげれば、子どもは明るい子に育つ
愛してあげれば、子どもは人を愛することを学ぶ

認めてあげれば、子どもは自分が好きになる

見つめてあげれば、子どもは頑張り屋になる
分かち合うことを教えれば、子どもは思いやりを学ぶ
親が正直であれば、子どもは正直であることの大切さを知る

子どもに公平であれば、子どもは正義感のある子に育つ
やさしく、思いやりを持って育てれば、子どもはやさしい子に育つ
守ってあげれば、子どもは強い子に育つ

和気あいあいとした家庭で育てば、
子どもは「この世の中はいいところだ」と思えるようになる

教育振興運動は、親や地域の方々が子どもに関わることで自分自身を見つめ、
子どもと共に育っていく運動です。この詩を「生徒は先生の鏡」、「子は地域の
鏡」と読み替えてみれば、先生も地域の方々も自分を振り返るいい機会となる
のではないのでしょうか。子育てや教育は、自分の姿を映す鏡なのです。

私事ですが、今年「手話検定3級」に合格しました！2010年は、2級にチャレ
ンジし、将来は手話通訳が出来るくらいになれたらと思っています。親が本を
読んだり、学び続ける姿を、子どもに見せることも大切なのだと思います。

⇒ 第18号は、4月13日（火）配信です。

★教育振興運動の資料・「教振メルマガ」のバックナンバーは、こちらまで。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/index5.html>

★このメールへの感想、ご意見・ご要望は、こちらまで。

⇒ 21kyoushin@gmail.com

★生涯学習の役立ち情報なら何でも「まなびネットいわて」まで。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/>

★子育てに迷ったら、ひとりで悩まず「子育ていわてケータイサイト」に。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/kt-shien/>

～～～配信元～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

- * 岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化課
- * 発行人：教育振興運動担当 佐藤敦士（さとう あつし）

転送はご自由です。どんどん転送してください。口コミは、あなたから始まります。「みんなでやろう！」という雰囲気をおあなたから作りだしてください。

⇒ 学校新聞の裏面に掲載しての各家庭への配布、回覧板を使っての自治会・
子ども会への回覧も大歓迎です！

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～